

# 南白小の未来をえがく！

令和5年6月12日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

## 端末の活用…GIGA スクール構想の推進

校長室だより 第3号

個別に最適な学びと協働的な学びを実現するため、児童生徒の「1人1台端末」等のICT環境整備を令和5年度までに実現する。文科省の方針でした。コロナ禍で3年間前倒しで行うことになり、令和3年度には全国の学校で整備されました。府中市も配備されて3年が経過しました。本校でも頻繁に活用されています。

①学習の基盤となる**情報活用能力の育成**、②動画や音声を活用し**児童生徒の興味を喚起**、③理解促進、情報の**収集・分析、まとめ・表現**などによる探究的な学習の効果的な推進などが目的にされました。思った以上に効果はあがっています。そんな学習につながる授業を紹介します。

## 図画工作…6年生 推理していく「おもしろ筆」

端末に送られたある「筆の痕跡」について、どんな筆で書いたのか、推理していきます。思考力の育成につながります。自分の端末で、ジャムボードというアプリに自分の考えを書き込んでいきます。端末に書き込んだ意見は、子供にとって学習の蓄積となり、教師の授業改善にもつながります。

### ○子供たちが考え、端末に書き込んだ意見

- ・筆が丸い ・ぶどうのよう
- ・ゆっくり筆を押した
- ・雨がふっているよう
- ・ポタポタ、たらした



自分の端末に意見を書く

実際に書いた筆は、プチプチの緩衝材です。子供たちは正解を聞いて、納得した表情です。次に、実際に「段ボール、緩衝材、ペットボトルのふた、毛糸、割

### どんなふうになる



りばし、モールなど」に墨を付け、半紙に書いていきました。

どの材料だとどんなふうになるのか、試してみます。この学習をふまえ、どんな「おもしろ筆」を作成していくのか、楽しみです。

## 社会…5年生「さまざまな土地のくらし(低地)」学習問題をつくる

写真資料を共有していきます。3つの川に挟まれた、岐阜県海津市の写真です。

情報を共有できるのもICTのよさです。木曽川、長良川、揖斐(いび)川です。どうも土地が川より低いのではないかとということが分かってきました。

「低い土地に住みたいか、住みたくないか」話し合いを進めました。自分自身の経験も思い起こしながら「水害が起こるから住みたくない」、「山奥より便利そうだから住みたい」など意見が出されました。

その後、1850年から50年間は60回以上あった水害が、グラフを50年ごとにめぐりながら回数を提示することにより、1900年からの50年間では1・2回に、急激に減っていることを示しました。データを知った子供たちは「低地に住む人々はどうやって水害の対策をし、どのように産業や公共の場を広げているのだろうか？」という学習問題をつくりました。資料(非連続テキスト)の活用について、考えられた学習でした。

## 航空写真撮影

50周年記念の行事の一つです。色とりどりのエプロンのような物を着て、ドローンで撮影しました。記念誌に載る写真です。できあがりを楽しみます。



低地の写真の提示



データを少しずつ見せる

### 50周年の航空写真を撮影

